

能登半島 地震

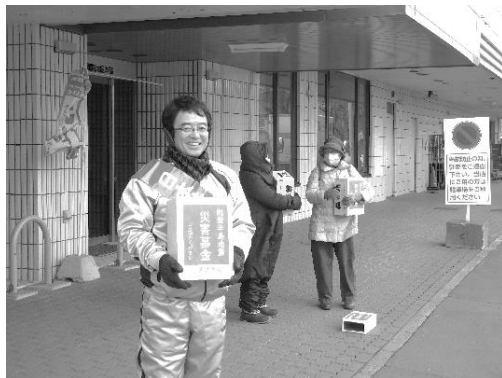
インフラ・ライフライン、壊滅的被害、避難生活の長期化 全国から6,800万円の募金、中央委員会に寄せられる 石川県など被災自治体に、全額届ける(第一次分)

救援募金に取り組む共産党議員団

日本共産党の四人の市議会議員は、12日から14日まで、市内各地のスーパー前で「能登半島地震被災者救援募金」に取り組みました。一カ所目は生協新橋店で、後援会員5人と一緒に梅津議員が募金を訴えました。

「震災関連死を出さないためには避難所の環境を整えることが急がれます。共産党は国に緊急の申し入れを行いました。また、釧路市議団は市内の避難施設の段ボールベットや暖房器具の調査も始めています」とハンドマイクで宣伝。梅津議員の訴えに立ち止まった母親は、財布から千円札を取り出し、一緒にいた子どもに「募金してきて」と手渡しました。また、これから店に入ろうとしていた女性は、「地震の募金ですか?」と寄ってきて、「買物しちゃうとお金が無くなっちゃうから先に募金しますね。いっぱい集めてあげてください」と言いつつ、千円札を入れました。短時間の募金活動でしたが、六千二百円の募金が集まりました。

募金活動に参加した愛国後援会員の男性は、「先日は、豊川町でも独自に募金に取り組みました。市民のみなさんがすすんで募金を寄せてくれます」と話していました。



- 主な募金活動場所
- 12日 生協新橋店
 - 13日 フクハラ愛国店
相長芦野店
フクハラ昭和店
 - 14日 フクハラ文苑店
フクハラ武佐店
生協曙店
生協桜ヶ岡店

後援会員のみなさんと
救援募金の訴えをする4人の市議



市民が主人公 **釧路市議団だより** 号外 2024年 1月28日

日本共産党 発行：日本共産党議員団 <http://jcpksigi.com/>
釧路市役所本庁舎2階 TEL・FAX 0154-23-5212